

シンポジウム「健康食品の効き目とリスクー誰が何を決めるのかー」の開催について

1. 主 催 日本学術会議 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同  
パブリックヘルス科学分科会  
共 催 日本衛生学会

2. 日 時 平成21年4月1日(水) 13:00~16:45

3. 場 所 北里大学白金キャンパス 薬学部コンベンションホール

4. 開催趣旨:

過去20年ほどの間に世界的に急速な広がりを見せた健康食品。その効き目とリスク評価の現状、製品を購入する際の消費者の自己決定はどのようになされているか、国際的に見た制度化や規制のあり方、日本人の健康観や食文化に与える影響など、健康食品の現状を浮き彫りにし、何が求められているかを問う

5. プログラム

13:00-13:05 開会の挨拶

岸 玲子(北海道大学大学院 医学研究科予防医学講座公衆衛生学分野 教授、日本学術会議会員、日本学術会議健康・生活科学委員会パブリックヘルス科学分科会委員長)

座長 相澤好治(北里大学医学部長、日本学術会議連携会員)

津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科 特任教授)

13:05-13:30 健康食品のひろがり

津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科 特任教授)

13:30-14:05 健康食品の効き目ー大豆イソフラボンを事例としてー

石見佳子(独立行政法人国立健康・栄養研究所 栄養疫学プログラム・生体指標プロジェクトリーダー)

14:05-14:40 健康食品のリスクー大豆イソフラボンを事例としてー

香山不二雄(自治医科大学 地域医療学センター環境医学部門教授)

14:40-14:50 休憩

座長 津谷喜一郎(東京大学大学院薬学系研究科 特任教授)

相澤好治(北里大学医学部長、日本学術会議連携会員)

14:50-15:25 グローバル化時代の健康食品のレギュレーション

大濱宏文(日本健康食品規格協会 理事長、日本学術会議連携会員)

15:25-16:05 食の哲学地図から見た健康食品

松永澄夫(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学 教授)

16:05-16:35 総合討論

座長 津谷喜一郎（東京大学大学院薬学系研究科 特任教授）  
相澤好治（北里大学医学部長、日本学術会議連携会員）

16:35-16:45 まとめ

相澤好治（北里大学医学部長、日本学術会議連携会員、  
第79回 日本衛生学会総会学会長）